

# 人々の暮らしが見える写真とイラスト地図

興味・関心を喚起する「写真で眺める」

第2部第2章「世界の諸地域」と第3部第3章「日本の諸地域」の導入「写真で眺める」では、地域の姿を実感できる、大きく鮮やかな写真を掲載しています。学習する地域の様子をつかみ、興味・関心を高めて、意欲的に学びに向かえるようにしています。

↓p.64-65

写真で眺める  
ヨーロッパ州



↑1 アルプス山脈を走る登山列車(スイス、インターラーケン近郊、2020年6月) 列車で移動しながらアルプス山脈の雄大な景色を楽しむことができます。➡p.66

↓2 歴史的な建造物がみられる町並み(イギリス、ロンドン、2015年) ➡p.68、76



↑3 国境を挟んでくつろぐ旅行者(ベルギー・オランダ、2015年) ➡p.70

二人の間にある地面の印は何か?



### 地図帳活用

ヨーロッパ州の鳥瞰図を眺めよう。



ヨーロッパ州には、歴史のある建物がたくさんあって、観光名所になっている所が多いんだね。

→5 モーゼル川のそばに立つ古城(ドイツ、コブレンツ近郊、2018年) モーゼル川は、フランスやルクセンブルク、ドイツを流れる国際河川で、川沿いには古城や古くから栄えた町が点在しています ➡p.66



↑6 地中海のティエラ(サントリーニ)島を訪れる観光客(ギリシャ、2017年7月) ➡p.67

### ヨーロッパ州の学習を見通そう

➡p.79の振り返りでは、あなたの考える「写真で眺めるヨーロッパ州」をつくろう

この節では、特に写真3にみられるような「国どうしの結びつきの強まり」を主題に、ヨーロッパ州がどのような特色をもつ地域なのか、学習していこう。



見逃しスライド

原寸大



↑4 氷河に削られた深い谷に海水が入り込んだフィヨルド(ノルウェー、オーレスン近郊、2018年7月) ➡p.66

特色

1

# 人々の暮らしが見える写真とイラスト地図

興味・関心を喚起する「写真で眺める」

## ポイント

写真は右に示した観点で選定しています

- ① 人々の暮らしが見える写真
- ② その後の学習内容に直結する写真
- ③ 新鮮な驚きを生み出す写真
- ④ 特色ある自然や産業などを捉えた写真
- ⑤ 有名な観光地の写真

地域の姿が見えてきます

p.200-201

写真で眺める  
近畿地方



原寸大



↑1 面積が日本一の湖、琵琶湖 (滋賀県大津市、2020年) 琵琶湖の水は、瀬田川、宇治川、淀川と流れ、大阪湾へと注ぎます。 p.202、205

琵琶湖の水は、どんなことに利用されているのかな？



↑5 観光客でにぎわう清水寺の山門 (京都府京都市、2016年5月) 着物を着て、観光名所をめぐる観光客が増えています。 p.208

↑2 姫路城 (兵庫県姫路市、2022年4月) 日本で最初の世界文化遺産に登録された姫路城には、国内外から多くの観光客が訪れます。 p.209



↑3 西洋風の建物を観光する人々 (兵庫県神戸市、2022年) この建物は、明治時代に神戸を拠点に貿易を営んでいた外国人の家でした。 p.202、204



↑4 奈良の伝統行事の一つである若草山の山焼き (奈良県奈良市、2017年1月) 写真手前は興福寺五重塔です。 p.209



↑6 遊歩道が整備された道頓堀川と観光客を乗せた観光遊覧船 (大阪府大阪市、2018年) p.202、204

ビルが立ち並ぶ街のなかに、遊覧船が通れる川があるんだね！



↑7 真珠の養殖 (三重県志摩市) p.202、211

近畿地方の学習を見通そう

p.213の振り返りでは、あなたの考える「写真で眺める近畿地方」をつくろう

この節では、写真1~7のような近畿地方の様子が、特に「環境保全」の視点とどのように関係しているのかを中心に考えていこう。



見直しスライド

# 人々の暮らしが見える写真とイラスト地図

地方の魅力を伝えるイラスト地図

第3部第3章「日本の諸地域」冒頭は、親しみやすいイラスト地図で、各地域の特色を端的に捉えられるようにしています。

↓p.199、233

## 原寸大

# 近畿地方



地図クイズなど



## 原寸大

# 関東地方



地図クイズなど



# 人々の暮らしが見える写真とイラスト地図

「地理的な見方・考え方」を働かせる写真

帝国書院  
撮影



↑1 田植えをする人々  
(インドネシア、バリ島、2023年1月)



1月に米づくりを行っているのは、日本ではあまり見たことがないね。



↑p.30 田植えをする人々 (インドネシア、バリ島、2023年1月)

撮影地がインドネシアのバリ島であること (=場所) と、撮影時期が1月であること (=時期) から、「なぜバリ島では1月に田植えができるのだろう」「日本との違いは何だろう」などを考えられるようにしています。

帝国書院  
撮影



↑p.27 シベリアの市場  
(ロシア、ヤクーツク、2021年1月)

## ポイント

毎年国内外で取材を行い、人々の暮らしや地域の様子が読み取れる写真を撮影しています。

帝国書院  
撮影



↑6 筑紫平野での小麦の収穫(上)と田植えの終わった水田(下)(佐賀県神埼市、2022年) 資料活用 2枚の写真が撮影された月に注目しよう。

↑p.175 筑紫平野での小麦の収穫(上)と田植えの終わった水田(下)(佐賀県神埼市、2022年)

3  
章  
日本  
の  
諸

生徒の興味・関心を喚起し、比較や位置関係の把握などの「地理的な見方・考え方」を働かせることができる写真を厳選し、掲載しています。  
積極的に現地取材を行っています。



←↓1 大阪湾沿岸の工業地帯の移り変わり(兵庫県尼崎市) 3枚とも、ほぼ同じ場所を撮影しています。  
資料活用 建物の様子や周辺の環境の変化に注目しよう。

大阪湾に面した工業地帯は、どのように変化してきたのかな?



帝国書院  
撮影

↑p.206 大阪湾沿岸の工業地帯の移り変わり(兵庫県尼崎市)

同じ地点の時期が違う写真を比較することで、地域の変化を捉えられるようにしています。



帝国書院  
撮影

↑4 伝統的な衣服を着た人々(インドネシア、フロレス島、2018年9月) 資料活用 衣服のつくり方に注目しよう。



帝国書院  
撮影

↑5 食事の様子(インドネシア、スマトラ島、2018年9月) 米は鍋でゆでてから蒸す方法で炊かれ、全員が大皿に入れて出されます。

生活と環境



帝国書院  
撮影

↑6 高床になっている家(インドネシア、スラウェシ島、9月) 高床の下は、洗濯物の干し場や作業場などになっています。



↑7 スコールのなかを歩く人々(インドネシア、ジャカルタ、11月) スコールは、15分程度の短時間でやむのが一般的です。

↑p.31 暑い地域の暮らし ~インドネシアでの生活~

暑い地域の衣食住をはじめとする地域の特徴的な写真を、ページ右上にまとめて掲載しています。このレイアウトは、他の地域のページでも共通しており、地域間の比較をやすくしています。